

【芸西村】

校務 DX 計画

1. 芸西村における校務 DX の取組について

令和 2 年度より校務支援システムを導入し、校務管理や教員同士の情報共有のデジタル化を推進し、教職員の資質・指導力の向上を図っている。

2. 「校務DX チェックリスト自己点検結果」における課題等について

「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリストの自己点検結果」(文部科学省・令和 5 年 11 月実施)を数値化した結果では、対象の村内 2 校においては、高知県全域の平均得点と全国平均を大きく上回っている。(本村平均 418.0 点、高知県全域平均 368.8 点、全国平均 363.0 点)

しかし、学校間における取組には差があることから、特に以下の 3 点について、各学校と連携を図りながら引き続き校務 DX の推進を図っていく必要がある。

(1) GIGA 環境・汎用クラウドツールの一層の活用

本村においては、教職員に Google Workspace の個人メールアドレスが付与されており、情報共有や連絡等にクラウドサービスが活用できる環境にある。

自己点検の結果によると、「学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れているか」、「授業研究会や校内研修等をハイブリッド(対面・オンライン)で実施しているか」等といった「オンライン配信の活用」について課題が見られる。一方、「職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化しているか」や「職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れているか」や「校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしているか」等、校内の業務については、クラウドサービスの活用が進んでいる。また、「学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信しているか」や「児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計しているか」等といった「保護者や児童生徒を対象とした活用」について活用が進んでいるが、完全デジタル化を目指し、先進地域の事例を紹介したり研修会を実施したりすることで、各学校におけるクラウドサービスの活用が進むように支援を行っていくことが必要である。

(2) FAX・押印等の制度・慣行の見直し

自己点検の結果によると、本村においては、すべての学校で FAX を活用していることが分かる。また、保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があると回答している。そのため、今後、FAX や押印等について制度・慣行の見直しを検討していく。

(3) 教育版情報セキュリティポリシーの策定

対象 2 校全てに、必要なセキュリティ対策を講じた上で、クラウド上のデータやサービスを活用することを前提とした教育版情報セキュリティポリシーを策定している。今後、すでに策定している教育版情報セキュリティポリシーの周知をさらに図るとともに、国の方向性や現状を的確に把握しながら、随時改正を行っていく予定である。

3. 今後の計画について

これらの現状等を鑑み、今後は以下の項目について具体的な取組を設定し、重点的に校

務 DX を推進する。

○クラウドサービス活用の拡充

- ・校務等におけるクラウドサービス活用についての情報提供
- ・情報交換のためのポータルサイト等の情報提供

○校務における生成 AI の活用

- ・校務における生成 AI の活用についての情報提供

○FAX・押印の見直しと校務支援システムへの手入力作業の一掃

- ・FAX、押印に関する実態把握と検討
- ・校務支援システムへの手入力作業の一掃に向けての働きかけ

○教育版情報セキュリティポリシーの改訂

- ・国や県の方針や現状の把握
- ・教育版情報セキュリティポリシーの改訂・周知